

SSH鍵作成とログイン(MobaXterm版)

最終更新: 2025/1/8 MobaXterm 24.4 で動作確認。一部の図更新。

はじめに

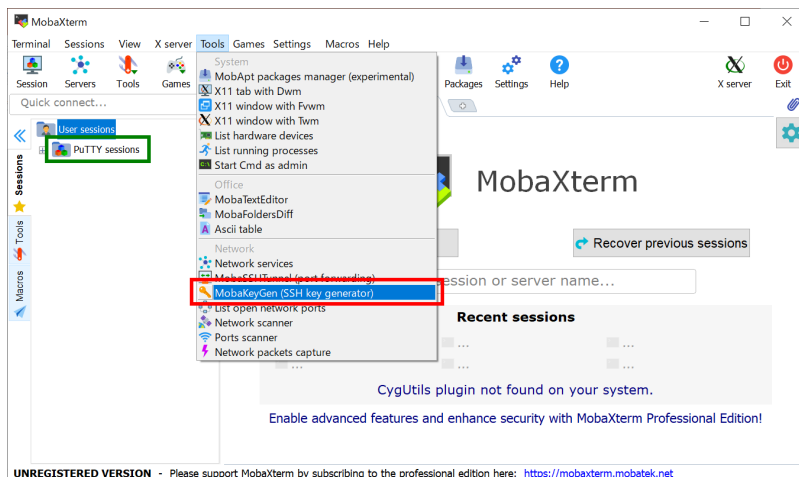
このページではMobaXtermを使ったSSH鍵の作成方法とログインサーバへのログイン方法について説明します。

インストール

<https://mobaxterm.mobatek.net/> からダウンロード可能です。

SSH鍵の作成(MobaKeyGen)

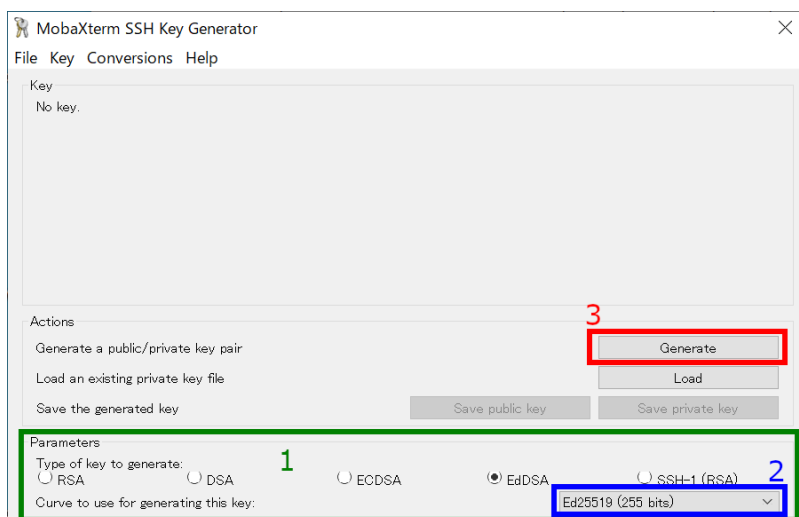
MobaXtermを起動してMobaKeyGenを呼び出す



MobaXtermを起動して、"Tools"メニューから MobaKeyGen (SSH key generator)を呼び出します。

なお、PuTTY の設定が存在している場合、それが左ペインの PuTTY sessions に読み込まれます(レジストリから読み出し?)。こちらに有効な設定が既に存在する場合、そのまま利用して接続することも可能です。

鍵生成(1) - 鍵種類の選択



MobaKeyGen (SSH Key Generator)を起動すると上のようなウィンドウが表示されます。

1. 鍵の種類を選択します

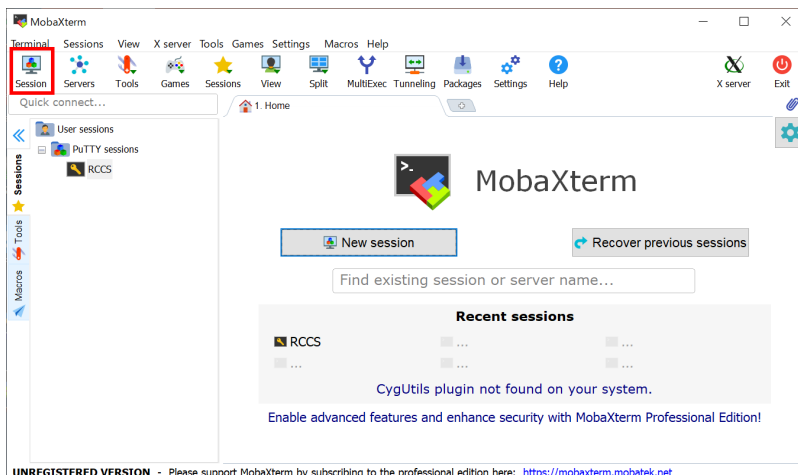
RCSS では EdDSA (Ed25519), ECDSA (256, 384 ビット), RSA 4096ビット*の鍵を推奨しています。

特にこだわりが無ければ、EdDSA (Ed25519)をご利用ください。

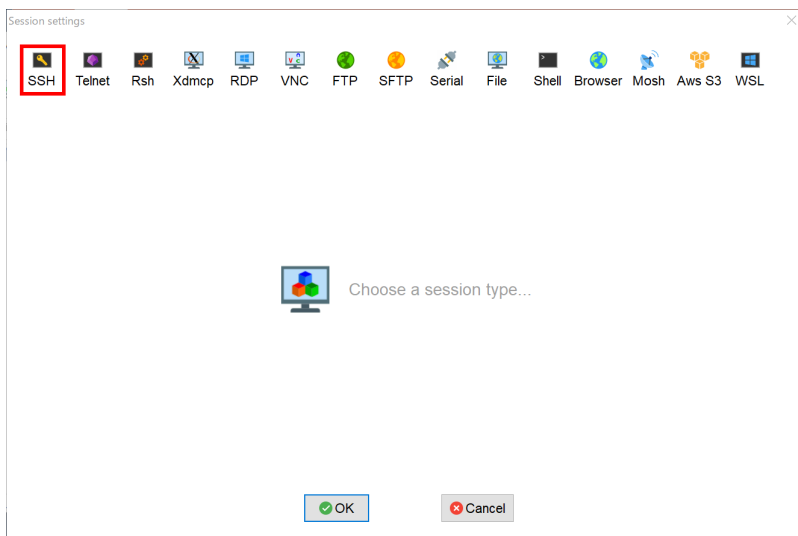
Ed448 は未対応のため、選択しないようお願いします。

* 古い MobaXterm Personal では RSA SHA2 のアルゴリズム(rsa-sha2-256/512)に未対応のため、できるだけ新しいバージョンを使うようお願いします。

新しいセッションの作成

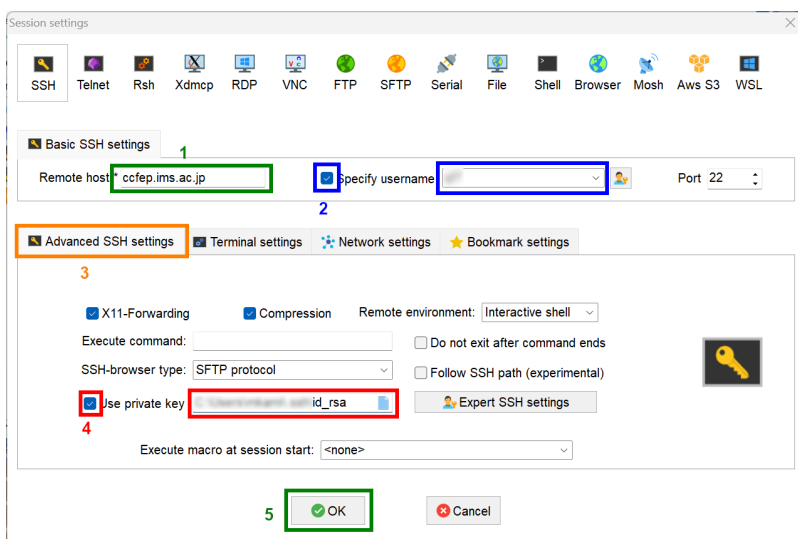


MobaKeyGen を終了して初期画面に戻り、**左上にある Session** をクリックし、新規のセッションを作ります。



するどどのタイプのセッションを作成するかを聞かれますので、**一番左の SSH** を選択します。

SSH接続設定を行う



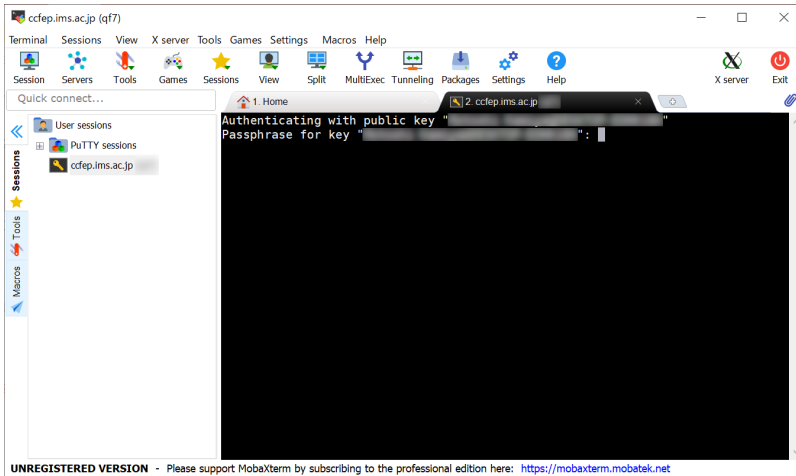
このページでは以下の設定を行います。

1. ホスト名として `ccfep.ims.ac.jp` を入力します。
2. "Specify username" をチェックし、RCCS 指定の 3 文字のユーザー ID を入力します。
3. "Advanced SSH settings" タブをクリックして開きます。

4. "Use private key" をチェックし、先ほど作成した秘密鍵ファイルを指定します(OpenSSH でも PuTTY の形式でも大丈夫のようです)

5. 上記設定が全て完了したら OK を押し、接続を開始します。

パズフレーズの入力

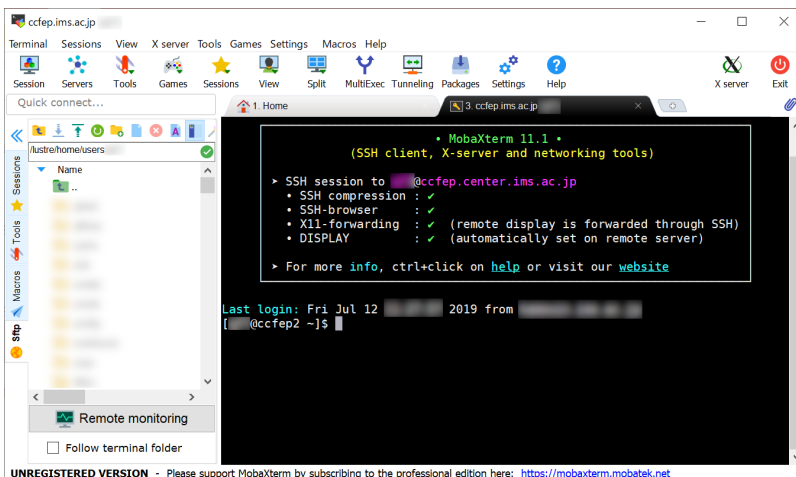


接続するとパズフレーズを要求されますので、入力してください。

メモ: MobaXterm はデフォルト設定では初回接続時の接続先ホストの検証を行いません。"Settings" -> "Configuration" の SSH タブ、SSH settings 枠中の "Validate host identity at first connection" をチェックすると検証を行うようになります。ccfep の有効な fingerprint は以下のものです。

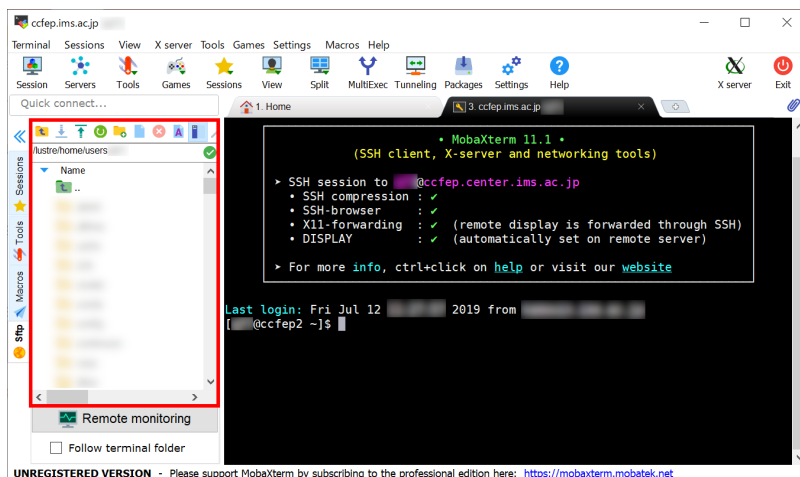
- ad:de:79:30:81:b0:b1:6a:17:f5:6f:ea:f4:b4:3b:de (MD5)
- e3:a9:bb:6f:e4:a9:37:fd:98:14:54:16:3c:81:2d:aa (MD5)
- 07:7e:df:7b:16:47:a8:f5:7c:48:b0:a3:d3:86:71:6a (MD5)
- wnEM30z4AxyDJ9XI/DdGr2PINeoivFRR8v5krXHEmdU (SHA256)
- 0KL38Yn/kBee1pAukyKwenEwXjtPxr9ZEloIofVqXvbl (SHA256)
- Nhg+9Lgj3XeuW//Aj7jqgUJllxWehryCtStlp1Dir (SHA256)

ログイン完了



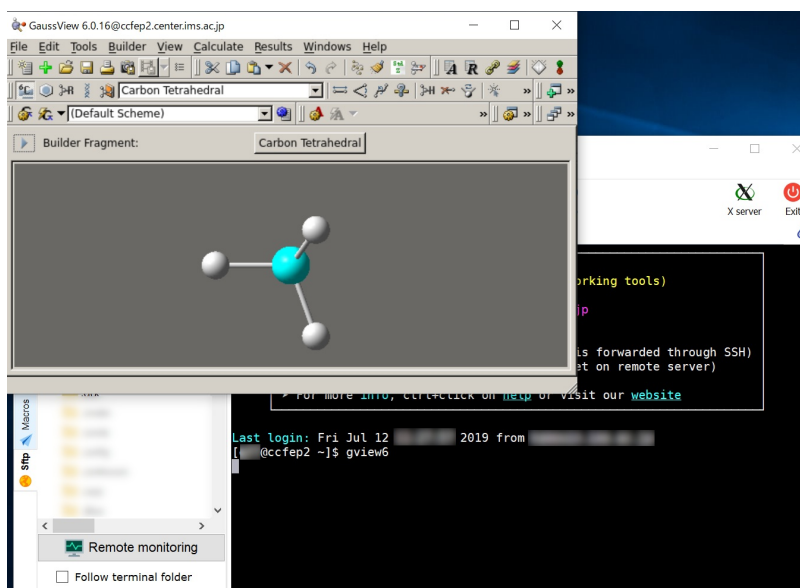
ログインに成功すると上のような画面が表示されます。

ヒント1: SFTP



MobaXterm には SFTP 機能もあり、SSH 接続の場合でも画面左側の赤で囲んだ領域でファイルのダウンロード等ができます。

ヒント2: X11



MobaXterm は Xserver を内蔵しているため、デフォルトの設定でも問題無く X window アプリが利用できます。(ログイン時の表示で X11-forwarding の項目にチェックが入っていない場合は利用できません。)